



II 基本構想

計画期間

2021(令和3)年度～2030(令和12)年度



斑鳩町のめざす将来像

(1) まちの将来像（まちづくりのテーマ）

今後10年のまちづくりにおいて、住民、事業者とともに実現をめざす斑鳩町の将来像を次のとおり掲げます。

『「和」で紡ぎ 未来へ歩む 私たちの斑鳩』

先人たちから受け継いできた聖徳太子の「和」の精神をもって、住民一人ひとりが、多様な価値観を尊重しながら、世代を超えて支え合い、未来へ歩いていくまち「斑鳩」を本町の将来像とします。

そのためには、「人」、「歴史文化」、「自然」といった「私たちの斑鳩」だけが持つ魅力、財産を生かし、横断的かつ戦略的な施策展開をはかることで、「住み続けたいまち」、「住んでみたいまち」、「訪れたいまち」の実現をめざします。

職員が考える「まちの将来像」のキーワード

● 暮らしの基盤を確保する

- ・災害に強く犯罪が少ないまち
- ・安全・安心
- ・生活インフラ、機能的で利便性の高いまち
- ・住民と行政の情報共有

● 地域で自分らしく豊かにくらす

- ・個性や能力が最大限に発揮できるまち
- ・多様な主体の関わり
- ・斑鳩を選んでくらす
- ・若々しく、わくわくする社会
- ・世代や多様性を超えた関わり
- ・子どもと女性が輝くまち

● 強みを生かし未来を創る

- ・歴史を生かす
- ・多くの人を訪れるまち
- ・「和」（たたずまい、調和）
- ・にぎわいと住みやすさが調和したまち

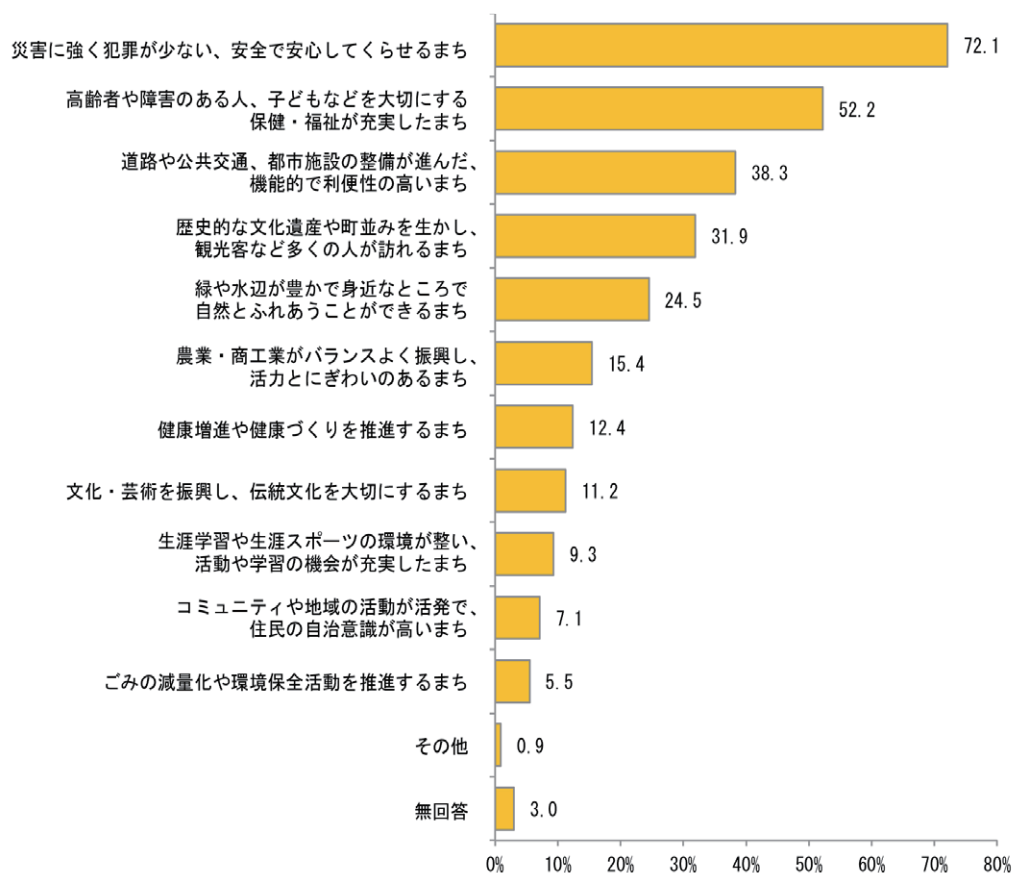
住民が望む「まちの将来像」

～平成30年度斑鳩町まちづくりアンケート調査より～

■ めざすべき将来像

「災害に強く犯罪が少ない、安全で安心してらせるまち」の割合が最も高く、次いで「高齢者や障害のある人、子どもなどを大切にする保健・福祉が充実したまち」、「道路や公共交通、都市施設の整備が進んだ、機能的で利便性の高いまち」、「歴史的な文化遺産や町並みを生かし、観光客など多くの人を訪れるまち」の順となっています。

災害や犯罪に対する安全・安心の強化とともに、保健・福祉の充実、都市基盤の整備、歴史文化資源を生かした観光振興などの取組みが求められています。



(2) まちづくりの基本的な考え方

今後、さらなる人口減少・少子高齢化が進行し、また、社会環境が著しい変化を続ける中、第5次斑鳩町総合計画をすすめるにあたって大切にしている価値観や考え方を示します。

1

安全・安心、快適にくらせるまちを創ります

安全なまちで安心してくらすことは、すべての住民の願いであり、まちづくりの土台となるものです。

- 自然災害に強いまちづくりをすすめるとともに、犯罪、交通事故から身を守り、住民の誰もが安全で安心して、快適にくらし続けることができるまちをめざします。
- 人口減少社会を見据えた健全な行財政経営を推進し、持続可能なまちをめざします。

2

子どもから高齢者まで笑顔が輝くまちを創ります

人生 100 年時代が到来する中で、それぞれのライフステージを笑顔でくらせるまちづくりが求められています。

- 安心して子どもを産み、育てることができ、次代を担う元気な斑鳩っ子が輝くまちをめざします。
- 高齢になっても生きがい、やりがいを実感でき、健康で心豊かにくらせるまちをめざします。
- 人とのつながりを大切に、共に支え合う「共助」のまちをめざします。

3

歴史文化資源を生かし、活力とにぎわいのあるまちを創ります

本町の豊かな歴史文化資源は、観光を基軸としたまちの活性化につながる貴重な財産です。

- 斑鳩の魅力を最大限に発信することで、貴重な歴史文化遺産の中でくらすことに誇りを感じ、愛着が深まるまちをめざします。
- 世界遺産法隆寺をはじめ歴史文化資源を生かした観光振興をはかり、国内外の多くの人でにぎわう活気あるまちをめざします。

(3) まちの将来像の実現にむけた基本目標

まちの将来像の実現をめざした施策の展開をはかるため、まちづくりの基本的な考え方をふまえた7つの基本目標を定めます。

基本目標1 安全・安心にくらせるまちにします

- 風水害や地震をはじめとする自然災害などから、尊い生命と貴重な財産を守るため、自助、共助、公助の連携のもと、ハード・ソフト両面での防災・減災対策に取り組み、災害に強いまちをめざします。
- 身近な暮らしの安全・安心を確保するため、犯罪や交通事故から身を守り、安全で安心して住み続けられるまちをめざします。

基本目標2 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

- 子どもから高齢者まで誰もが気軽に外出できるよう、道路や歩道、公共交通など都市基盤が整備されたまちであると同時に、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちをめざします。
- 限られた経営資源を有効に活用し、人口減少や人口構造の変化など、社会環境の変化にともなって多様化・複雑化する社会ニーズを的確に把握し対応するとともに、世代間の公平性にも考慮しつつ、次世代に負担を残すことのない、効率的な行財政経営をすすめるまちをめざします。

基本目標3 子どもの未来が輝くまちにします

- 安心して妊娠・出産でき、子育てしやすい環境をつくり、子どもたちをいじめや虐待、貧困から守るしくみを整え、住民が互いに助け合うことで、子どもたちの笑顔と元気な声が、家庭や学校、地域で響きわたるまちをめざします。
- 世界遺産法隆寺のあるまちとして、「育てよう和の心」を教育スローガンとし、子どもたちが、将来誇りを持ってグローバルに活躍できるよう多様性を尊重しながら共に学び、将来の夢や希望を育みかなえる教育のまちをめざします。

基本目標4 誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします

- 住民一人ひとりが健康づくりに取り組み、心身の豊かさが実感できるよう、年齢、性別、障害の有無を問わず、適切な社会保障と充実したサービスを受けられるまちをめざします。さらに高齢者が元気で積極的に社会参加をしている活気のあるまちをめざします。
- 生涯学び活躍できる環境と、スポーツ・文化を通じた豊かな生活が実感できるまちをめざします。

基本目標5 つながり大切にすまちにします

- 世代や地域、性別、公民（官民）の枠を超えて、人との「つながり」を大切にすまちをめざすと同時に、共に支え合い助け合うことのできる、笑顔のあふれる「共助」のまちをめざします。
- 仕事をはじめ、幅広い分野で女性が活躍できる男女共同参画社会をめざします。また、人権を尊重し、平和社会を実現するとともに、外国人が地域社会の一員として、安心してくらすことができる多文化共生が浸透したまちをめざします。

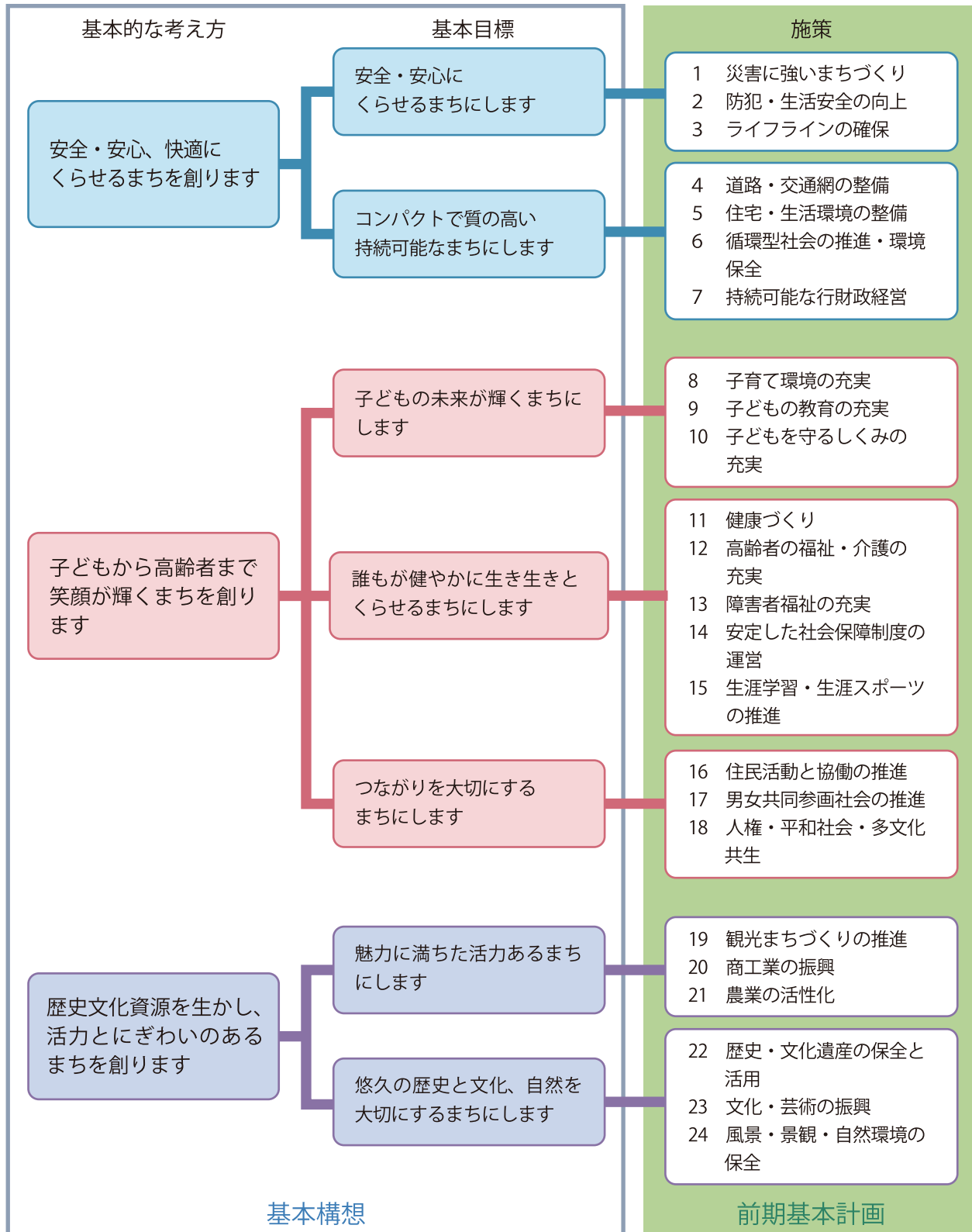
基本目標6 魅力に満ちた活力あるまちにします

- 観光地域づくりを行うため、多様な関係者が連携・協力し、世界遺産法隆寺をはじめ歴史文化資源を生かした観光振興をはかり、国内外の多くの人との交流を通じて、にぎわいに満ちたまちをめざします。
- 地域ぐるみの観光ブランド力の強化に加え、まちづくりと農業の連携などにより、雇用創出や起業を促進し、地域経済が活性化した元気なまちをめざします。

基本目標7 悠久の歴史と文化、自然を大切にすまちにします

- 先人たちが守り伝えてきた歴史や文化、自然を次世代に継承するため、未来の斑鳩を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちをめざします。
- 斑鳩の魅力を最大限に発信することで、本町に住む人や働く人が、貴重な歴史・文化遺産の中でくらすことに誇りと愛着を持ち、さらに斑鳩の魅力を発信できるまちをめざします。
- 山林・水辺・田園などの豊かで貴重な自然を守り育て、美しい「斑鳩の里」の景観をいつまでも保ち続けるため、自然と共生するまちをめざします。

(4) 施策の大綱



将来展望人口

(1) 日本は本格的な人口減少時代へ

2015（平成 27）年の国勢調査で、日本の総人口は初めて減少に転じました。
今、我が国は本格的な人口減少時代に直面しています。

(2) 活力ある豊かな斑鳩町を維持していくために

斑鳩町の人口は減少傾向にあり、全国と同様に少子高齢化がすすんでいます。

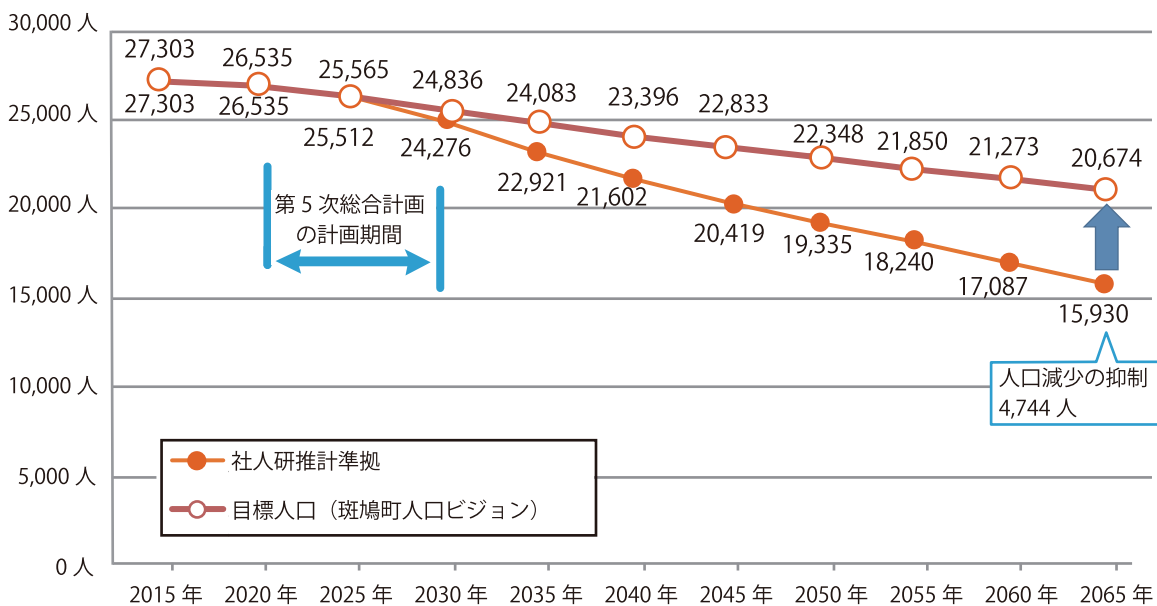
国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が 2018（平成 30）年 3 月に公表した推計では、2065 年における本町の人口は約 15,900 人になることが予測されています。

これに対して、第 2 期斑鳩町人口ビジョンでは、人口減少に歯止めをかけ、町の活力を維持するために、2065 年における目標人口を 20,700 人とします。

本計画における目標人口

2030 年の人口 **24,800 人** をめざします。

斑鳩町の人口の長期的な見通し



資料：第 2 期斑鳩町人口ビジョン